

# 1 班



## 【課題① 農業従事者の減少】

農業の後継者不足で農業人口は減っている。

はたして、生産量も落ちているのだろうか？

なぜ後継者がいないのか。

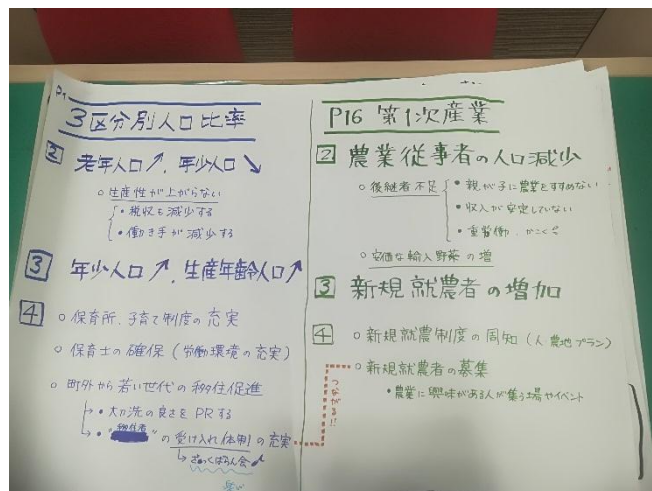
⇒ 親が子どもに農業を勧めない。儲からないで過酷。収入が安定しにくい。

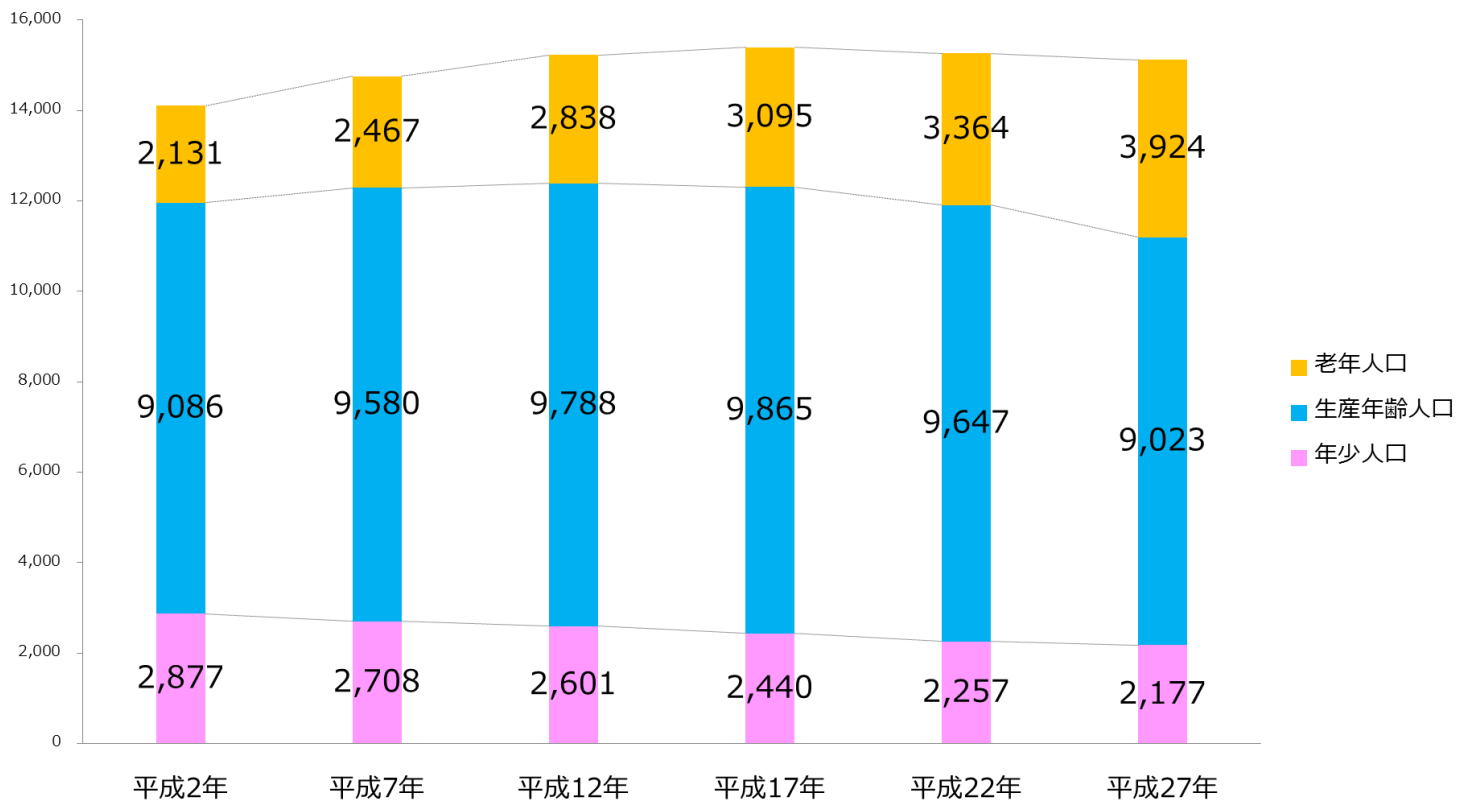
昔は、農地のある町に住んでいたが、農業者も今は町外に住んでいるケースがある。

良い土地があるので、新規就農支援事業をもっと充実したほうがよい。

⇒ 例) 空き家を、新規就農する方に貸し出す。

募集を積極的に行い、農業研修生を町に呼び込む。





### 【課題② 年少人口の減少】

老年人口が増えて、年少人口が減少すると10年後に働き手がいなくなり税収も減少。

対応策

#### 1つ目 働き手の確保。

働き手を確保するために、若い年代に移住してもらう必要がある。

↓

そのためには、子育て支援制度を充実させる必要がある。

↓

そのためには、待機児童をなくすために保育士を確保する必要がある。

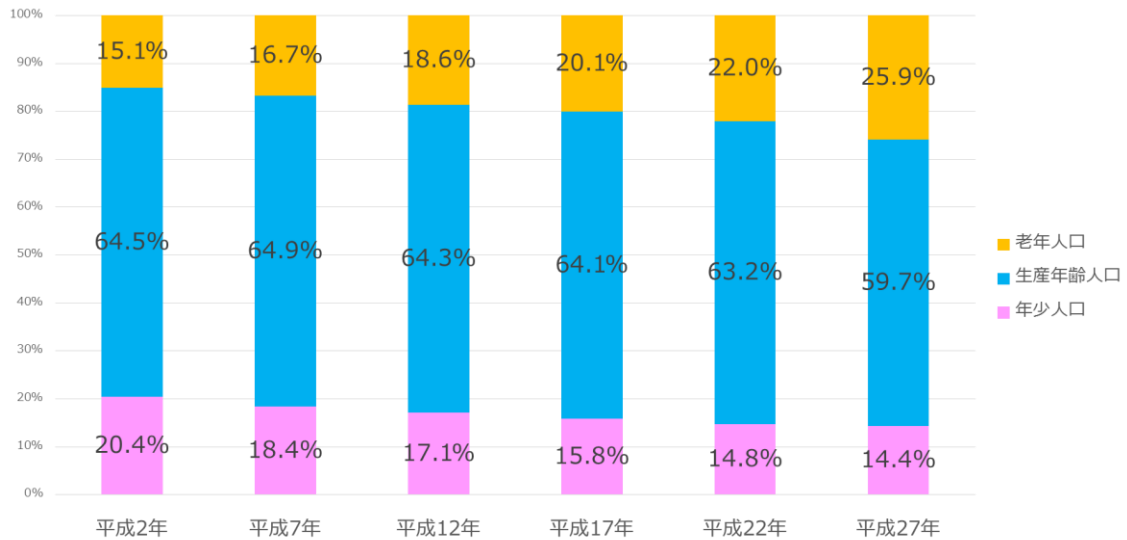
↓

そのためには、保育士の労働条件を上げる必要がある。

#### 2つ目 若者を待ちに呼び込む。

空き家を、若い方に安く貸すシステムを構築する。

# 2班



## 【課題① 年少人口の減少】

年少人口の減少の課題は、10年後、町の担い手がいなくなること。

なぜ、減っているのか。

1つ目の理由 安心して子どもを育てられる環境が整備されていない。

育児休暇の後に、安心して職場に復帰できない。

待機児童の問題も大きい。

解消するために、

子どもを育てる親へのサポートを充実させる。

⇒ 65歳以上のシニア世代を活用して、ボランティアで親をサポートする。

地域コミュニティを強めて、地域で子どもを育てる環境の整備。

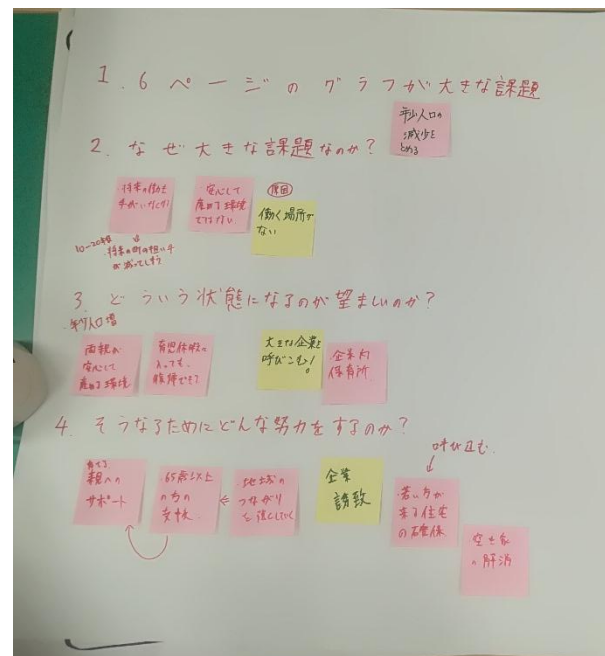
「企業内保育」の検討。

2つ目の理由 町内に働く場所がない。

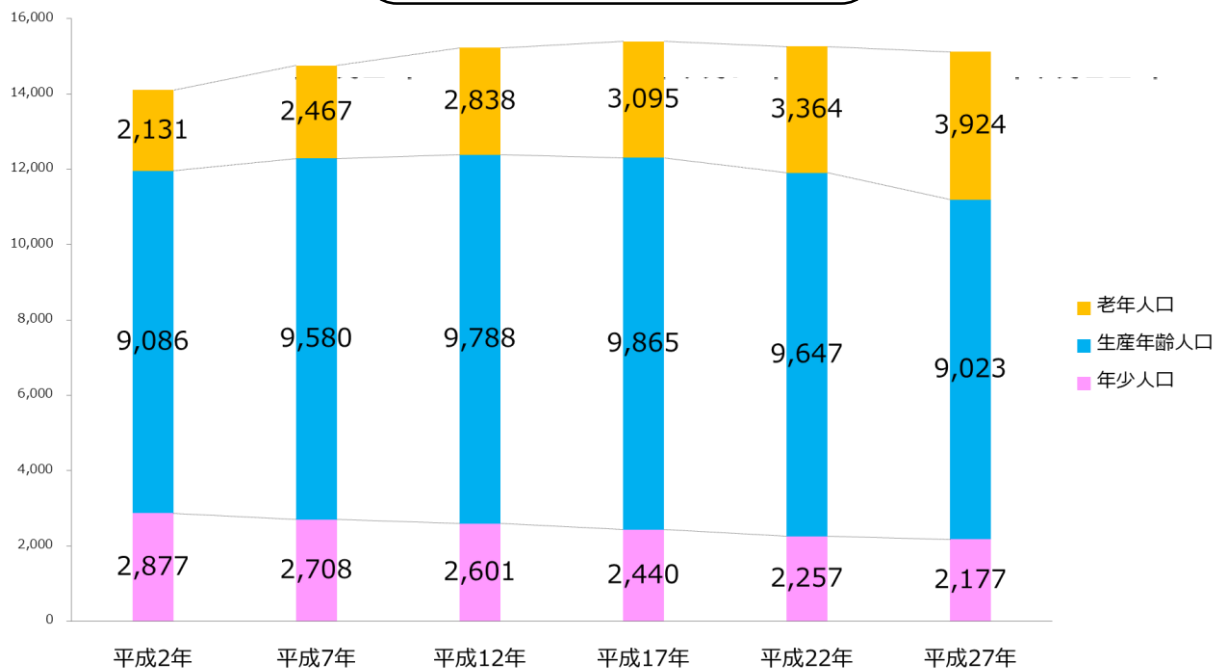
企業誘致を進める。

そのためには、働く方の居住空間も確保すること。

⇒ 空き家を活用して、働き手を呼び込む。



# 3班



## 【課題① 町にとってちょうどよい人口は何人？】

10年前に比べて、総人口は増えているのに、なにか問題なの？

それは、老年人口が増えているから？でも65歳以上は結構元気じゃない？

そもそも何人がよいのだろう。

⇒ 老年人口をひとくりにしない。働ける健康な方もたくさんいる。

稼ぐ高齢者を増やす仕組みを構築しよう。

「65歳を超えても元気に輝ける町」

そのためには、健康じゃないといけない。

健康づくりのやり方を、ひとくりにしない。

⇒ みんなが体操をしたいわけじゃない。健康づくりの手法も多様化させる。

例) プールに行きたい人、歩きたい人、自転車をこぎたい人.....

## 【課題② 人口増の考え方】

単に移住者を増やしていけばよいわけではない。

「大刀洗町を好きな人」を増やす。今住んでいる人の満足度を高める。

町の中で、「いつでも集える場」をつくる。

住んでいる人が繋がると、地域で住むことが楽しくなる。

⇒ 関係性が深い、地域コミュニティを構築していく必要がある。

① P17 & P46 (H2 総人口とH27 総人口) への対応

「老年人口」比率...

老年人口の割合  
定年  
現役化

65才以上は...  
実は若返っている!!

② そもそも何人がちがう良いの?

生産年齢  
の減少

H2  
14000人  
不幸防止

何人に  
対して  
わかること

65才以上  
がやけに  
怪言 怪  
言がたふ

65才以上は現役です!!

③ 65才世代は福の輝く町!!

老年人口の  
緩和は!!!

65才以上  
若返っている

今の世代  
維持できる  
人口である

65才以上  
増えること  
は避けられ

④ 「老年人口」をひたすらに減らさ!!

年令ごとの  
働く意識  
向上

65才以上の  
可能性  
活用

高齢者の  
健康状態

ちがう  
高齢人口の  
増加

65才以上の無限の可能性!!

① P17 「人口減少の対応」について

今住んでいる  
人下町  
の人口に  
ついて

外から人を入れるか先に  
今住んでいる人を幸せに...

② 今住んでいる人のこと知っていますか? 暮らしの豊かさ...

今住んでいる  
人の暮らしは  
?

住んでいる  
人の暮らし  
をどうにか  
する

今住んでいる  
人の暮らし  
を

物住居を  
増やしたい  
集いやすい  
な!!

まじり  
あつめ

③ 「大の洗好」人口が増加する

住人が  
「大の洗好」  
言ってくる

1111町と  
いわれる  
地域が  
つく!!

隣近所  
で楽しく  
コミュニケーション  
がとれる

高齢者の  
「大の洗好」  
による  
人口増

④ 町の人を知ることが出来る場作り

いっしょに  
集まれる  
場を増やす

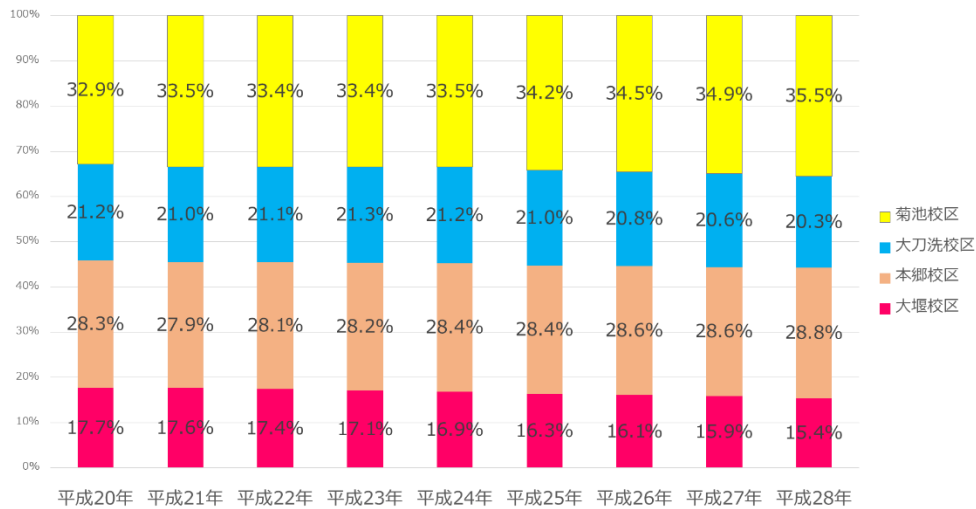
町話の場  
をつくる

人の悪い言  
わない人間  
関係づくり

大の洗好  
の場  
をつくる

役場の施設  
ではなく、暮らし  
に近づくための  
幸福度調査

# 4班



## 【課題① 地域による人口の増減差】

町の人口を平均化したらどうか？

利便性の低いところには、人は住みたくない。

解決策その1 公共交通の利便性を高める必要がある。

大刀洗校区は、公共交通がないから人口が減っているのでは？

解決策その2 待機児童の解消。

若い人を呼び込みたいが、若い人は共働きが多い。

↓

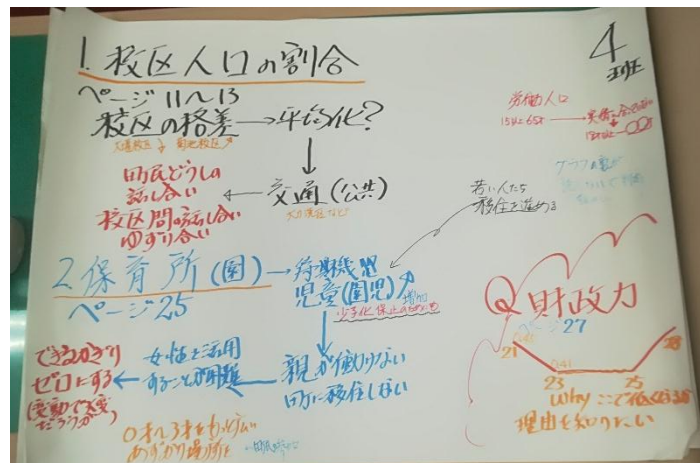
待機児童がいる。保育園に入れないと働けない。

↓

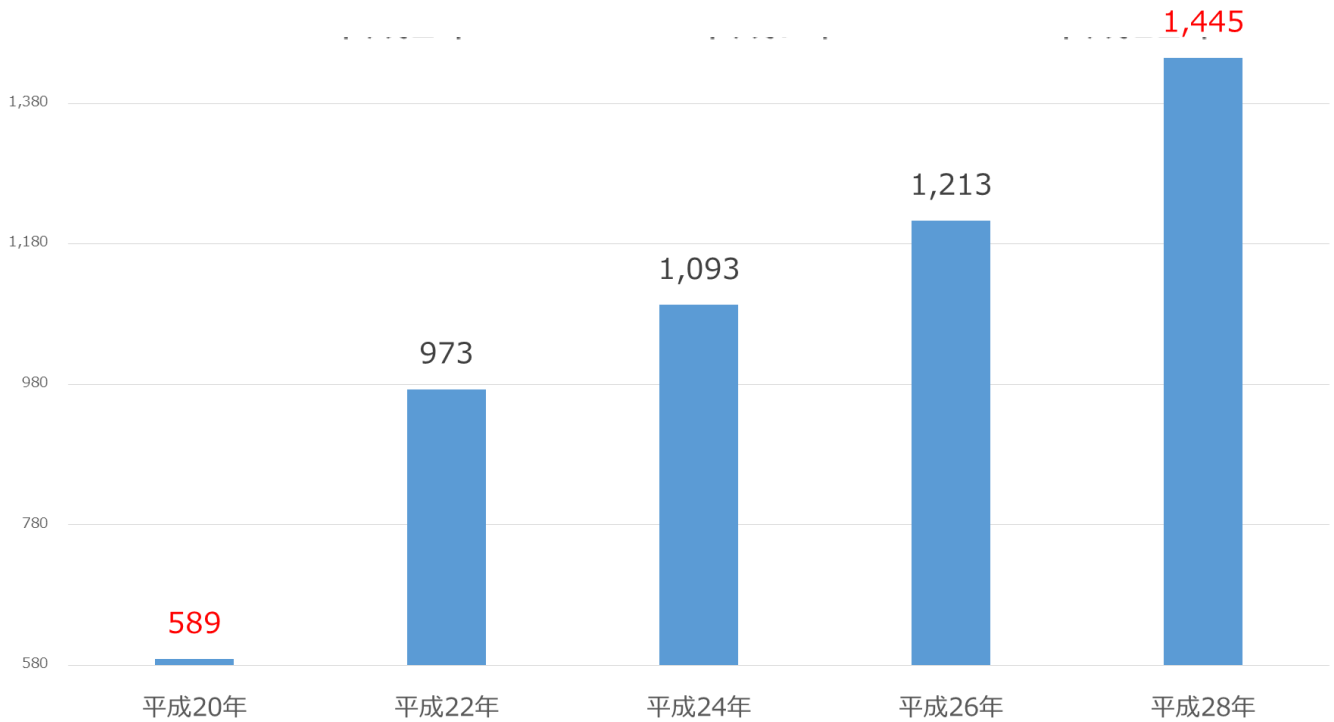
待機児童問題を解消すると、若い人が移住しやすくなる。

## その他

労働人口が15歳～64歳以下になっているが、現代社会において、15歳から働く人は比較的少ないため、18歳からに変更した方がよいのでは？



# 5 班



## 【課題① 補助費の増加】

近年、増加幅が著しい、10年前と比べて約 2.5 倍。額も大きい。  
 老年人口は、必然的に増えていくので、増加幅を下げていく必要がある。

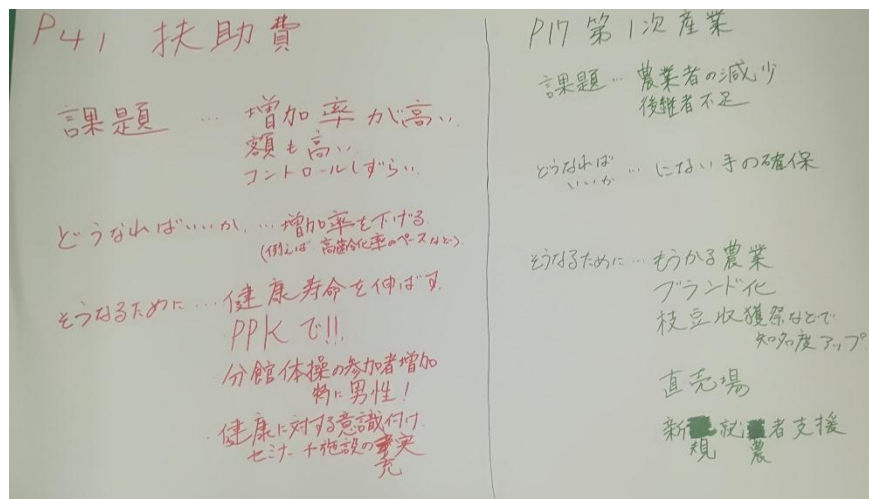
### 対策その1 医療給付を抑える方法を検討。

健康寿命を延ばす「健康づくり」

- ⇒ 現状として、体操教室とかやっているけど、女性のみが参加している。  
 男性も参加できるような、啓発活動が大切  
 「ピンピンコロリを目指す」

延命処置で、医療費が高まっている傾向もある。

- ⇒ エンディングノートを推進して、健康なうちに本人に意向を確認しておく。





**【課題② 第1次産業従事者の減少】**

農業者の減少、後継者の不足。

担い手を確保することが急務。

- ⇒ ■ 儲かる農業
- 農作物のブランド化
  - 知名度のアップ（枝豆収穫祭によるPR、直売所の運営など）
  - 新規就農者への支援

（支援のポイント）

土地：農地の確保

機械：農業機械購入等の初期投資の支援

技術：専門家や先輩農業者による技術支援



# 6班



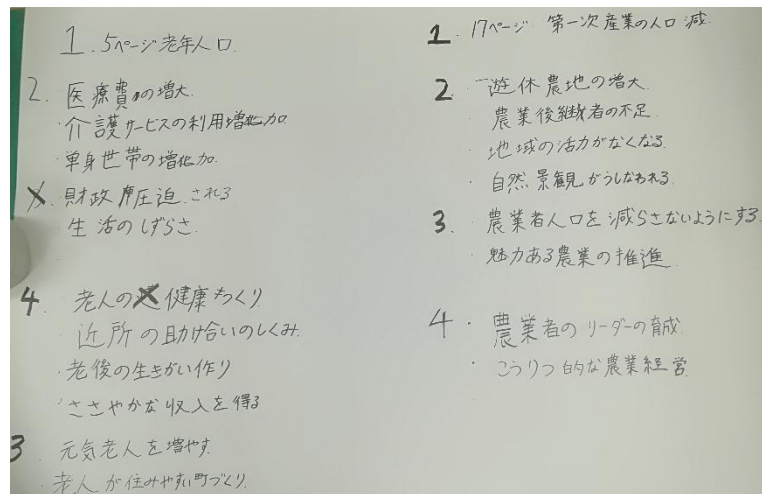
## 【課題① 老年人口の増加】

老年人口が増えることによる問題

- 医療費の増大
  - 介護サービス利用者の増加
  - 独居老人の増加による多様なサービスの提供
- ⇒ 財政負担の増加

## 対応策

- ⇒ ■ 元気高齢者を増やしていく。
- 下高橋官衙遺跡を活用してグラウンドゴルフ大会を開催する。
- 高齢者も住みやすい町をつくる。  
公共交通を充実させる、歩きやすい道路を整備する。
  - 高齢者のいきがいをつくる。  
ささやかな収入を得る仕組みを構築する。





#### 【課題② 農業者の減少】

優良な農地が確保されているにもかかわらず、農業人口が減少するのはもったいない。後継者が不足すると、荒れた農地が増える。

⇒ 「町の魅力の減少」

#### 対応策

「農業の魅力」をもっと PR する必要がある。

- ⇒ ■ 豊かな自然と水でつくる野菜をブランド化。
- 儲かる農業の仕組みを構築。
- 農業のリーダーを育成する「輝く農業者モデル」。
- 効率的な農業経営の支援。